

# 一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

## 2013年度第5回（通算第20回）理事会 議事録

1. 開催日時：2014（平成26）年3月9日（日）11：05～16：20（12：40～13：20 休憩）
2. 場 所：横浜ラポール2階 応接室
3. 審議事項および資料
  - 第1号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
  - 第2号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系）
  - 第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）
  - 第4号議案（専権等の報告）3月8日事業連絡調整会議の報告
  - 第5号議案（専権等の報告）3月8日統括会議報告
  - 第6号議案（専権等の報告）新規後援依頼の受諾について①
  - 第7号議案（専権等の報告）新規後援依頼の受諾について②
  - 第8号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について
  - 第9号議案（専権等の報告）展示会出展について
  - 第10号議案（決議）新入会者の承認について
  - 第11号議案（専権等の報告）2013年11月～2014年1月までの決算報告
  - 第12号議案（決議）高知福祉機器展への試行出展について
  - 第13号議案（決議）福祉機器コンテスト2013の決算について
  - 第14号議案（決議）福祉機器コンテスト2014実施計画と予算について
  - 第15号議案（専権等の報告）福祉機器コンテスト事務局との契約について
  - 第16号議案（決議）福祉機器コンテスト選考委員の承認について
  - 第17号議案（決議）盛岡のカンファレンス報告（決算書含む）
  - 第18号議案（決議）第30回リハ工学カンファレンス開催地決定の件
  - 第19号議案（決議）個人情報取扱規則改正
  - 第20号議案（決議）情報公開規則改正
  - 第21号議案（決議）名誉会長および顧問の推挙に関する規定の改正
  - 第22号議案（決議）SIGの規程整備について
  - 第23号議案（決議）支部の規程整備について
  - 第24号議案（決議）協会誌の規定整備について
  - 第25号議案（専権等の報告）新規編集委員候補者について
  - 第26号議案（決議）編集委員長の交代について
  - 第27号議案（決議）編集委員会用メーリングリストについて（案取下げ）
  - 第28号議案（報告）個人情報管理責任者の件
  - 第29号議案（決議）HCR2014での車椅子トレーニングイベントの開催の件
  - 第30号議案（報告）第2回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 福島進捗報告
  - 第31号議案（決議）公益認定申請についてのパブリックコメント募集について
4. 理事総数 15名  
出席理事数 14名
  - 会長（代表理事） 繁成剛
  - 理事 岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、元田英一、剣持悟、相良二郎、鈴木聖貴、

	高原光恵、塚田敦史、古井 透、水澤二郎、宮野秀樹、山形茂生
監事	井上剛伸
事務局	深野栄子
欠席理事	畠中 規
欠席監事	井村 保

## 5. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 定款第 49 条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
- (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の元田英一と高原光恵の 2 名を選出した。

### 第 1 号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

事務局統括担当の沖川理事より、第 4 回の理事会以降に承認された 11 月 23 日～1 月 24 日、1 月 25 日～2 月 28 日までの計 8 名の入会が報告された。

### 第 2 号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系）

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況（12 月 8 日～3 月 8 日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

#### ■ 副会長／公益法人化

- ・ 公益認定申請に必要な手続きを理解するために、国・都道府県公式 公益法人行政総合情報サイトを利用するための登録手続きを事務局とともに実施し、完了した。
- ・ 上記サイトを利用して公益認定申請に必要な書類内容について調査を行った。
- ・ パブリックコメント案について再度検討を行った。

#### ■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 定款と定款施行細則に基づき各種規定の見直しを行なった。

#### ■ 理事会・総会担当

- ・ 2013 年度第 4 回法人理事会及び事後調整会議議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2013 年度第 5 回法人理事会開催案内及び準備を行った。

#### ■ 事務局統括／財務担当

- ・ 事務局運営：後援・協賛依頼への承認回答を行った。  
※後援 2 件（新規 2 件、継続 0 件）、協賛 1 件（継続 1 件）
- ・ ホームページの運営管理：会員サービスの一環とし、迅速に情報を掲載した。
- ・ メールニュースの配信：メールニュースを配信し、会員に情報提供を行った。  
※12 月 1 件、1 月 1 件、2 月 1 件
- ・ 公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備：前年度に団体・法人を統括した財務管理・諸表を基盤にして、公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備を進めている。
- ・ 新年度予算（案）作成の調整を実施した。

#### ■ 広報・渉外担当

- ・ 海外向け広報の媒体手段として、Annual report のような電子媒体の協会報告ができないかの検討を始めた。国立障害者リハビリテーションセンター研究所様より、「障害者の災害対策シンポジウム～被災地から学ぶこれからの備え～」の新規後援依頼について検討し、専権とすることで調整を進めた。
- ・ 公益社団法人 日本理学療法士協会様より「第 4 9 回日本理学療法学会（平成 26 年 5 月 30 日～6 月 1 日）」の新規後援依頼について検討し、専権とすることで調整を進めた。

#### ■ その他

- ・ iCREATe2014 主催団体の会長である Ang Wei-Tek 氏からの来日の際、会長および国際担当理事との面談

の希望があり日程調整を行ったが、調整がつかず流会となった。今後、Ang 氏とは Skype 等による会談について調整を行う予定である。

- ・ 韓国の視覚障害者からの問い合わせに対して、日本ライトハウス情報文化センター、日本点字図書館などについての情報提供を事務局と共に行った。

### 第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況（12月8日～3月8日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

#### ■ カンファレンス担当

- ・ 第28回リハビリ工学カンファレンス in いわたの収支決算書類を井村監事に確認してもらい、修正部分を及川氏に伝達し、修正のお願いをした。
- ・ 第30回リハビリ工学カンファレンスの準備：沖縄を2回訪問し、現地関係者とのミーティングの上、以下の合意を得た。  
開催予定日：平成26年11月13-16日 or 27-30日）、会場：沖縄県総合福祉センター  
実行委員長：金城知子氏（沖縄リハビリテーション福祉学院作業療法学科長）  
副実行委員長：砂田和幸氏（有限会社砂田義肢製作所専務取締役）。

#### ■ コンテスト担当

- ・ コンテスト事務局と契約を交わした。
- ・ コンテスト結果報告書の作製と関係団体への配布をした。
- ・ リハビリテーション工学 Vol. 29, No. 1 に結果報告書と協賛企業広告を掲載した。
- ・ 2014年度コンテスト事務局となる車座との業務委託契約を結んだ。
- ・ 2014年度選考委員の内諾を得た。
- ・ コンテスト協賛企業として榊有菌製作所の内諾を得た。

#### ■ 協会誌担当

- ・ 協会誌の発行と送付（Vol. 29 No. 1 特集「私の手になる道具たち」）
- ・ 第4回編集委員会の開催（大阪、1/18-19）

#### ■ 分科会・委員会担当

- ・ 各SIG/支部からの活動費申請に対して理事会承認および活動費の支給を行った。
- ・ 復興支援講習会のプログラムを確定した。関係各企業へ協賛を依頼した。
- ・ SIGの位置付けを議論するために、各SIGに対する調査とアンケートを実施した。

#### ■ 企画担当

- ・ バリアフリー2014 出展社プレゼンテーションの企画・調整をした。関西支部に依頼し、「車椅子の歴史から考える車椅子の未来」（中村俊哉氏）に決定した。

#### ■ 国際担当

- ・ カンファレンスに対する海外からの問い合わせに対応している。
- ・ iCREATE 議長の VeraYoung 教授と当協会理事長・副理事長との会議日程の連絡調整（会議は都合により中止）を行った。
- ・ 協会 web サイト英語版掲載情報をカンファレンス情報を中心に更新中である。

#### ■ その他

- ・ 業務執行報告書（第3期分）の提出依頼と取りまとめをし、理事会への報告を行った。
- ・ バリアフリー2014 ブース出展に関して展示会事務局と調整した。
- ・ HCR2014 出展に係る調整と申し込みを行った。
- ・ 高知福祉機器展（6/13-15）への試行出展に関する調整を行った。

### 第4号議案（専権等の報告）3月8日事業連絡調整会議の報告

事業統括担当の金井理事より、3月8日に行った事業連絡調整会議の報告がされた。

出席者：相良副会長、金井事業統括理事、沖川事務局統括理事、岩崎分科会・委員会担当理事、剣持企画兼カンファレンス担当理事、宮野企画担当理事、山形カンファレンス担当理事、鈴木総務統括理事、深野事務局長

#### ■ カンファレンス

##### 第30回 沖縄

- ・ 実行委員長：金城知子先生（沖縄リハ学院OT学科長）に内諾を得た。
- ・ 会場：沖縄県総合福祉センター
- ・ 日時：2015年11月13～16日を確保（そのうちの3日間で開催予定）、理事会で検討・6月までに実行委員会を発足し、準備金を申請する予定である。

##### 第29回 広島

- ・ 現在演題エントリーは17。演題数が少ないので、1週間ほど延期する予定である。
- ・ 国際セッションについて、主担当がわからず連携が取れてない状態のため、国際担当に再度要請する。
- ・ 海外からの参加者の対応は、実行委員会でも可能かどうかを確認する。

##### 第28回 いわて

- ・ 今理事会で、岩手のカンファレンスの決算報告の決をとる必要がある。
- ・ カンファレンスの監査は、井上監事が行い、理事会に報告する。

#### ■ 協会誌

- ・ 任期に伴い編集委員長が交代した（岩崎氏→岡田氏）。
- ・ 査読担当兼副委員長に西村氏（横リハ）が新任となった。
- ・ 編集委員の新任は4名+現委員の岡田氏の補充として1名。

#### ■ コンテスト

- ・ 第2次選考会における日程及び展示場所について、広島カンファレンス実行委員会と調整する。

#### ■ 分科会・委員会

- ・ SIGの位置づけで、現状把握として10SIGにアンケートを実施した。協会としては、協会内SIGとしての条件として、資産の問題と、協会員以外のSIG会員に対して、準会員（仮称）を設ける必要があるため、次回の理事会で、協会の準会員（仮称）を議題にあげる。
- ・ 準会員（仮称）を設ける場合は、定款の変更が必要である。
- ・ 車椅子・福祉用具博物館開設準備基金について検討した。

#### ■ 企画

- ・ リハ工学協会主催で、HCR2014での車椅子トレーニングイベントの開催について、理事会で承認する方向で調整を行った。
- ・ 日本身体障がい者補助犬学会 第7回学術大会(2014年9月20日21日：中部国際空港セントレア4F イベントプラザ)にて開催予定の講習会「車椅子を安全に飛行機に乗せるために(仮)」に、リハ工学協会として協力（人材派遣、後援、協力など）できるように進言する。
- ・ バリアフリー2014の出展社セミナーを関西支部に依頼した。

#### ■ 国際

- ・ iCREATの会議を横リハで予定していたが、開催できなかった（後日web会談予定）

#### ■ 展示会

- ・ バリアフリー2014の展示員や展示物の調査を流す予定である。
- ・ 4月20日午後、関西支部のセミナーを（一社）日本福祉用具評価センター（JASPEC（神戸））で開催する。
- ・ 6月に高知で福祉機器展が開催されるので、協会のPRも兼ねて出展する方向で準備を進める。
- ・ 高知側には歓迎していただいている。将来的に、リハ工学カンファレンスを四国の高知でも実施できたらよい。

#### ■ その他：金井

- ・ 2014年度の事業計画・予算要求の作成依頼

#### 第5号議案（専権等の報告）3月8日統括会議の報告

総務統括担当の鈴木理事より、3月8日に行った統括会議の報告がされた。

出席者：相良副会長、鈴木総務統括理事、金井事業統括理事、沖川事務局統括理事、剣持企画兼カンファレンス担当理事、宮野企画担当理事、山形カンファレンス担当理事、深野事務局長

##### ■ 規則・細則の見直し

- ・ カンファレンス関連規則がないため(定款施行細則にはあるが)作成し次回理事会で議案提出する。
- ・ 個人情報複製物の管理に関する覚書を小林氏と交わす。
- ・ 2013年8月23日の臨時理事会より2年後定期社員総会までの期間、個人情報の管理責任者を会長としたいということを議案として挙げる。

##### ■ 公益法人化について

- ・ 公益事業（カンファレンス、協会誌の編集・発行、コンテストの実施、研修会・講習会等の開催）、収益事業、共益事業（協会誌の配布）の登録作業中である。
- ・ 分科会をどうするか？各事業に対しての経費を按分する必要がある。司法書士事務所にお問い合わせの方がよいかもしいない（予算化すれば可能か）。

##### ■ 個人情報取扱規則の改正

#### 第6号議案（専権等の報告）新規後援依頼「第49回日本理学療法学会」の専権行使

広報・渉外担当の塚田理事より、新規の後援依頼「第49回日本理学療法学会（主催：公益社団法人日本理学療法士協会 開催日：平成26年5月30日～6月1日）」があり、専権行使のために理事への意見収集を12/27～1/7で行った。結果、特に問題は無いと判断し、1/9に専権行使の発行を宣言し、専権事項として承認回答した後援依頼についての報告がされた。

#### 第7号議案（専権等の報告）新規後援依頼「障害者の災害対策シンポジウム～被災地から学ぶこれからの備え～」の専権行使

広報・渉外担当の塚田理事より、新規の後援依頼「障害者の災害対策シンポジウム～被災地から学ぶこれからの備え～」（主催：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 開催日：平成26年2月26日）があり、専権行使のために理事への意見収集を1/16～1/23で行った。結果、特に問題は無いと判断し、1/24に専権行使の発行を宣言し、専権事項として承認回答した後援依頼についての報告がされた。

#### 第8号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼についての報告がされた。

- ・ 2014/1/24 協賛 バイオメカニズム学会：「第35回バイオメカニズム学術講演会」（2013/11/08～09）

#### 第9号議案（専権等の報告）展示会出展（HCR2014 出展申込、バリアフリー2014 及びワークショップ）

事業統括担当の金井理事より、専権事項として、2013年度事業計画に基づいて、バリアフリー2014の出展申込および出展社ワークショップ申し込みの手続きを行ったこと、また、HCR2014の出展申込が3/31と案内が来ているので、継続事業として2013年度と同様の内容で出展申込を行いたいということについて報告がされた。

##### ■ バリアフリー2014（4/17（木）-18（土））

- 2013年度事業計画に基づいて出展の手続きを進めた（小間番号5-106）。また、出展社ワークショップについても、企画推進事業の事業計画に基づいて宮野理事・剣持理事と調整し、申し込みを終えた。関西支部の協力を得て、中村俊哉氏を講師に「車椅子の歴史から考える車椅子の未来」のテーマで行う。

##### ■ HCR2014（10/1（水）-3（金））

- ・ 10月開催の展示会であるため、本来的には2014年度事業計画および予算要求の審議が終わってから申し込むべきであるが、申込み期日はこれらが確定する前（2/1～3/31）であること、継続事業であること

を鑑み、会長、副会長に事前に確認の上、専権事項として出展申し込みを行った。今年度も福祉機器コンテスト表彰式および受賞作品の展示、出展社ワークショップの開講等が計画されると考えており、出展社としてのメリットを十分に活用する予定である。

#### 第10号議案（決議）新入会者の承認について

事務局統括担当の沖川理事より、2013年度第4回（通算第19回）理事会以降のメーリングリストによる確認及び承認をおこなった者以降、今回の理事会までの入会希望者（2013年度下半期正会員2名、2013年度下半期学生会員1名）リストが提示された。当該希望者の除名歴等はなく、審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0

#### 第11号議案（専権等の報告）2013年11月～2014年1月までの決算報告

財務担当の沖川理事より、2013年11月～2014年1月までの収支計算書総括表、正味財産増減計算書総括表（フロー式）、貸借対照表総括表が提示され報告され、また、次年度予算作成のスケジュール確認を行った。

#### 第12号議案（決議）高知福祉機器展への試行出展について

事業統括担当の金井理事より、高知福祉機器展（6/13-15）に試行的に出展をしたい旨の提案。開催時期が2013年度であり、当初の本年度の事業計画にはないが、展示会出展は公益目的事業の一環として鑑みても実施したいとの説明があった。審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0

#### ■ 期待される効果

- ・ 地方へ協会自身が出向いていくことで、会員増に向けたPRにもなるし、主催セミナーを開催することで情報・技術等の普及を図ることができる。
- ・ 積極的な公益活動としての意義もある。

#### ■ 今後の計画案

- ・ 協会が主体的に運営する展示会はHCRとBF展の2本柱とする。
- ・ 西日本国際福祉機器展は、基本的には九州支部に運営を依頼する。できる範囲でのブース展示やセミナー等開催とする。
- ・ 本来的には次年度事業計画に盛り込んで実施すべきだが、開催時期が6月であるため、新規事業（企画推進事業）として試行的に実施し、地方展示会への参加のための検討材料としたい。

#### 第13号議案（決議）福祉機器コンテスト2013の決算について

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト2013について結果報告書、決算書が提示の上報告された。審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0

#### 第14号議案（決議）福祉機器コンテスト2014実施計画と予算について

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト2014について、福祉機器コンテスト2014実施要綱（案）、福祉機器コンテスト2014予算（案）が提示された。審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0

#### 第15号議案（専権等の報告）福祉機器コンテスト事務局との契約について

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト2014について、コンテスト事務局を有限会社車座にお願いしたことが報告された（契約期間は2014年3月1日より2015年2月28日）。

第16号議案（決議）福祉機器コンテスト選考委員の承認について

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト 2014 の選考委員を選任し提示された。審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0

選考委員長：元田 英一	日本リハビリテーション工学協会担当理事
選考委員：岡田 英志※	HUMAN universal design office
栗林 健	愛知県心身障害者コロニーこばと学園 診療部リハビリテーション科
長尾 哲男	九州栄養福祉大学リハビリテーション学部 作業療法学科
藤記 拓也※	横浜市総合リハビリテーションセンター
中村 詩子	北九州市立総合療育センター

※新規選考委員

第17号議案（決議）盛岡のカンファレンス報告（決算書含む）

カンファレンス担当の山形理事より、第28回リハ工学カンファレンス in いわたの報告（決算書含む）が提示されたが、一部の勘定科目、細目等の内容に確認を要するところがあったため継続審議とした。

当該箇所の確認、監査後に電磁的手段による理事会を開催し、審議、決議をすることとした。

第18号議案（決議）第30回リハ工学カンファレンス開催地決定の件

カンファレンス担当の剣持理事より、第30回リハ工学カンファレンスを沖縄開催とし、会場は沖縄県総合福祉センター、開催時期は2015年11月にすることが提案された。審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0

第19号議案（決議）個人情報取扱規則改正

規則・選挙 担当理事の鈴木理事より、定款・定款施行細則に準じ、個人情報取扱規則の改正案が提示された。審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0

第20号議案（決議）情報公開規則改正

規則・選挙 担当理事の鈴木理事より、定款・定款施行細則に準じ、情報公開規則の改正案が提示された。審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0

第21号議案（決議）名誉会長および顧問の推挙に関する規定の改正

規則・選挙 担当理事の鈴木理事より、定款・定款施行細則に準じ、名誉会長および顧問の推挙に関する規定の改正案が提示された。審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0

第22号議案（決議）SIGの規程整備について

分科会・専門委員会担当の岩崎理事、規則・選挙 担当理事の鈴木理事より、2013（平成25）年6月9日（日）開催の2012年度第7回（通算第15回）理事会において、第17号議案「SIG設置規程（案）について」、第18号議案「SIG助成金支給要綱（案）について」で議論し、大幅修正の必要があり、継続審議となったSIG規程（案）、SIG活動費要綱（案）、SIG設置認定書が提示された。

公益法人化に伴うSIGの位置づけや財務関連の整備等についての結論が出ていない状況の中で、規程の決定はできないので、これらを並行して審議する必要があるため引き続き継続審議となった。

## 第23号議案（決議）支部の規程整備について

分科会・専門委員会担当の岩崎理事、規則・選挙 担当理事の鈴木理事より、2013（平成25）年6月9日（日）開催の2012年度第7回（通算第15回）理事会において、第19号議案「支部助成金支給要綱（案）について」、について議論し、大幅修正の必要があり、継続審議となった規程（案）「SIG 関連」「SIG 規程（案）」「SIG 活動費要綱（案）」「SIG 設置認定書」が提示された。

SIGの規程整備と同様に、公益法人化に伴う財務関連の整備等についての結論が出ていない状況の中で、規程の決定はできないので、これらを並行して審議する必要があるため引き続き継続審議となった。

## 第24号議案（決議）協会誌の規定整備について

協会誌担当の高原理事、規則・選挙 担当理事の鈴木理事より、協会誌に関する規定の整備について、協会誌発行規定（案）、投稿論文査読規定（案）、協会誌投稿規定（案）が提示された。

理事会承認が必要な協会誌発行規定（案）について審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0

## 第25号議案（専権等の報告）新規編集委員候補者について

協会誌担当の高原理事より、リハビリテーション・エンジニアリング誌の新規編集委員案（毎年半数の交代）が提示され第26号議案の審議承認後、報告された。

新任は、4名+現委員の岡田氏の補充1名（敬称略）

岩下航大（鉄道弘済会 義肢装具サポートセンター 理学療法士 東京都）

土田浩敬（兵庫頸髄損傷者連絡会 兵庫県）※自薦

香田潤（香田事務室 エンジニア、教育、札幌市障害者パソコンボランティア 北海道）※自薦

佐藤遼太郎（一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院 作業療法士 福島県）

佐々木誠（岩手大学 エンジニア 岩手県）

編集委員長

岡田 裕生（川村義肢株式会社・パシフィックサプライ株式会社 エンジニア、メーカー 大阪府）

副編集委員長（査読担当）

西村 颯（横浜市総合リハビリテーションセンター 工学技師 神奈川県）（現編集委員：2013年度任期終了）※再任

留任

片石 任（一般財団法人啓成会 技師（講師） 東京都）

中村 宣郎（中村ブレイス株式会社 義肢装具士 島根県）

油田あゆみ（北九州リハビリテーション学院 作業療法士（教員） 福岡県）

## 第26号議案（決議）編集委員長の交代について

協会誌担当の高原理事より、リハビリテーション・エンジニアリング誌の編集委員長を、岩崎満男氏から、岡田裕生氏（現在、編集委員会副委員長）へ交代したいとの提案がされ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0

## 第27号議案（決議）編集委員会用メーリングリストについて

協会誌担当の高原理事より、編集委員会にて使用しているメーリングリスト（YahooML）のサービスが終了して使用できなくなるため、協会のドメインを利用して、新たに「ML-editor@resja.or.jp（名称仮）」を理事会提案申請していただきたいとの提案がされたが、協会誌編集・発行は協会主要事業であるため承



認は不要であり、議案取下げとした。

#### 第28号議案（報告）個人情報管理責任者の件

規則・選挙担当の鈴木理事より、個人情報取扱規則に基づき、繁成会長を管理責任者（期間：2013年8月23日の臨時理事会より2年後定期社員総会まで）としたいとの報告がされた。

第5条 会長は、理事の中から1名以上を個人情報管理責任者として任命する。

2 個人情報管理責任者は当法人が保有する個人情報の利用者ではないものであること。

3 個人情報管理責任者が会長であることは妨げない。

#### 第29号議案（決議）HCR2014での車椅子トレーニングイベントの開催の件

企画担当の剣持理事より、HCR2014での車椅子トレーニングイベントの開催について新規事業の提案がされた。審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0

- ・ 開催日時：2014年10月3日（金）（2～3時間） HCR2014 子どもの広場
- ・ 目的：実生活に即したトレーニングを行うことにより、より自分の生活の中で最適な車椅子の選定の機会とすること、医療関係者に対しても児童・学童期からの車椅子の必要性を感じていただくこと。
- ・ HCRでの主催企画に協会名が挙がることは、露出が増え広報効果にもつながりよいと思う。

#### 第30号議案（報告）第二回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 福島 進捗報告

企画担当の剣持理事より、第2回東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会 in 福島の進捗報告がされた。

- ・ 企画概要は協会ホームページを参照のこと。
- ・ 申し込み状況は3/8 現在40名で、多くは被災県からの参加者である。
- ・ 申し込み締め切りは3/18で、3月末には各SIGへの参加者を確定する。
- ・ 今回は前日準備が行なえないので、4/12（土）当日は9時の開館に合せて準備を行う。
- ・ 懇親会の手配を委員会メンバーに依頼予定。

#### 第31号議案（決議）公益認定申請についてのパブリックコメント募集について

公益認定担当の相良理事より、社員総会にて提案した公益認定申請の是非について会員の意見を求めるパブリックコメントの実施案を作成したものが提示され、継続審議となった。

- ・ 公益認定申請をすることに対する賛否や疑問について伺い、公益法人化後の利点についてより多くの会員に認識していただきたいことが目的である。
- ・ 公益認定の6条件については昨年の総会（総会資料）で問題ないと説明しているが、さらに具体的な内容説明をした上で改めて6条件について条件を満たしているとの説明が必要である。ただし、コストと時間を要するだけに、次年度に先送りすることも選択肢の一つとして挙げておく。
- ・ 公益申請の作業はすでに開始しているが、かなり煩雑であり、財務担当との十分な調整が必要である。
- ・ 申請書をまとめていくのにも膨大な時間を要するが、SIGの位置づけ等との兼ね合いもある。
- ・ 協会として公益性のある役割を担うということを明示できるとよい。一般社団法人化の際、公益法人化のステップであることは承認されている。ただし、そこにどれだけの準備期間をかけるかである。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2013（平成25）年度第5回（通算第20回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（14時35分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2014年3月9日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成25年度第5回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 元田 英一

議事録署名人 高原 光恵